

近畿税政連

第243号 令和元年(2019年) 10月10日

税理士会の要望実現のために活動しています

発行所 近畿税理士政治連盟 発行人 久保直己/編集人 小川由美子
〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 電話(06)6944-9040 FAX(06)6944-9050 URL <http://kinzeisei.jp/> e-mail info@kinzeisei.jp



白川郷(岐阜県大野郡) 撮影:東 智之(上京支部)

- 第53回定期大会・国政報告会・懇親会 3
- 近畿税理士政治連盟役員名簿 16

会費納入は

□ 座 振 替 で

申し込みは事務局(06-6944-9040)まで

焦点

近税政第53回定期大会も全ての議案が可決承認されて無事終わった。

定期大会とは近税政の議決機関のことである。近税政の組織は近畿税理士会に入会している税理士である会員を会員として組織している団体ではあるが、定期大会で決議に参加できるのは、毎年7月1日現在の支部連に所属する会員50名ごとに1名の割合で、支部連会長が推薦す

近税政は代議員制です

る代議員に限られている。突然、今まで届いた事のない議案書が郵送されて来たと思われた会員もいると思う。代議員制は、会員数が多く、その会員が広い地域に分布している場合などに、総会の代わりに採用される制度である。よく「税政連は一部の政治好きな税理士が勝手に活動している団体」や「どんな活動をしているのか全く分からない」などを耳にするのが、近税政の議決機関である定期大会の構成要員が「代議員制」であることも

関係しているのではないかと。代議員は、従来の会員の代わりに定期大会を構成する一員として、定期大会に出席し、議決権を行使するのが職務である。

実はとても大事な役割をになっているのである。近税政が日頃、どんな活動をしているのかを知るための絶好のチャンスでもあるので、是非、代議員になって定期大会へ出席していただきたい。

(副幹事長 小川由美子)

第53回定期大会 会長あいさつ

本日は、近畿税理士政治連盟第53回定期大会の開催にあたり、ご来賓として、小島忠男日本税理士政治連盟会長、杉田宗久近畿税理士会会長、平昌彦名古屋税理士政治連盟会長には、ご多用中のところご光臨を賜りましたこと大変ありがたく、心より感謝と御礼申し上げます。名誉会長・相談役の皆様には、本日までご臨席賜りましたこと、また常日頃、私ども執行部に対しまして、ご指導ご鞭撻を賜っておりますことを、高い席からではございますが、厚く御礼を申し上げます。そして、各地域においてご活躍頂いております代議員・役員の皆様方には、ご多用中にもかかわらず、ご参集いただきましたことを厚く御礼申し上げます。



久保直己 会長

本年度は、4月には統一地方選挙が施行され、またこの7月には第25回参議院通常選挙が施行されました。これらの選挙におきましては、後援会・支部・支部連を中心に電話戦術をはじめ、推薦ハガキ等ご尽力いただき、お陰様をもちまして、参議院選挙での推薦候補者9人のうち7人の当選をはじめ、多くの推薦候補者が当選することができました。推薦候補者の当選に向け、ご尽力いただいた会員の皆様方には格段のご協力を賜りましたことを改めまして御礼申し上げます。

かねてからの懸案である税理士による後援会の活性化について、2年前から本格的に取り組む中で解散すべきところは解散を進めていただき、結果8後援会が解散し、新たに6後援会が設立されました。この6月末現在では43の支援後援会が存在しておりますが、いずれも会員の拡大に取り組んでいただいております。今後とも、後援会の活性化に取り組んでいただき、更に新たな後援会の設立にもご尽力いただきたいと存じます。

10月から消費税の軽減税率が実施されることになりました。税理士として、誤りの無い申告に努めなければなりません。ただし、複数税率に対しては建議書に沿って反対していきたいと存じます。消費税については、基準年度、簡易課税制度など実務上多くの問題点があり、特に各種選択届出書を確定申告時に提出できるよう建議書の要望実現を目指したいと存じます。

会費収納につきましては、収納率の向上のため、口座振替やコンビニ収納等のPRをおこない、支部連役員会への出席や支部個別の懇談を通じて積極的なご協力を賜り、一部の支部連及び支部においては収納率を大きく改善していただきました。後ほど感謝を込めて表彰させていただきます。さて、本定期大会は、当連盟の1年間の運動の集大成であります。前年度の運動経過及びその成果を皆様にご報告するとともに、令和元年度の運動方針や予算などを十分にご審議いただきたいと思います。是非とも忌憚のないご意見を賜ればと存じておりますので、よろしくご審議の程お願い申し上げます。

なお本日はご案内の通り、定期大会終了後の国政報告会と懇親会に代議員・役員のほか、例年のとおり一般会員にもご参加いただく予定です。国会議員の方々の生の声をお聞きいただき、政治を少しでも身近に感じていただければと思っております。

最後になりましたが、ご臨席の皆様方のご健勝と事業のますますのご発展を祈念いたしまして、開会にあたりごあいさつとさせていただきます。

目次

焦点	1	近畿税理士政治連盟役員名簿	16
第53回定期大会 会長あいさつ	2	第7回川柳・書道コンテスト応募者一覧	18
第53回定期大会・国政報告会・懇親会	3	かんさいすずめ	19
後援会ニュース	10	銀河系	19

第53回

定期大会・国政報告会・懇親会

～令和元年9月6日(金) 帝国ホテル大阪～

定期大会



9月6日、帝国ホテル大阪で、近畿税理士政治連盟第53回定期大会が開催された。司会の長谷川隆史選対委員長の開会宣言のあと、国歌斉唱と物故者黙祷をおこなった。

来賓の小島忠男日本税理士政治連盟会長、杉田宗久近畿税理士会会長、平昌彦名古屋税理士政治連盟会長の紹介と、浅田恒博名誉会長、大高友紀相談役、澤田千博相談役の紹介があった。

引き続き、議案審議にあたり、議長の松尾康弘代議員と副議長の神吉康史代議員が選任された。まず、第1号議案の平成30年度運動経過報



松尾康弘議長(左) 神吉康史副議長(右)

告承認の件と第2号議案の平成30年度収支決算承認の件が一括審議され、可決承認された。

第3号議案の近畿税理士政治連盟規約の一部改正承認の件が審議され、可決承認された。



議案説明 田達満 幹事長

第4号議案の令和元年度運動方針承認の件、第5号議案の令和元年度委員会活動方針承認の件、第6号議案の令和元年度収支予算承認の件が一括審議され、すべて可決承認された。

第7号議案の任期満了に伴う役員改選承認の件により新役員が選任された。第8号議案の大会決議承認の件が可決承認され、7人の代議員は、声高らかに大会決議文を朗読した。



大会決議文朗読

左から岸友子、小川宗彦、倉島吉男、坂東不可止、嶋田薫、藤原光男、吉住隆弘

来賓祝辞

●小島忠男 日税政会長

4年目の任期になるが、4度目の正直でやっと近税政を訪問することができた。過日の7月27日に第25回参議院議員通常選挙がおこなわれた。



小島忠男 日税政会長

国政選挙への対応は税政連にとって最も重要な活動であり、日税政は全国の税政連の皆様力を結集してこれに全力で取り組んだ結果、全国で56人の税政連推薦議員が当選した。このほか、税理士法改正について、日税政は日税連と連携して次世代にとって魅力のある、国民、納税者により一層信頼される税理士制度とするため積極的に対応していく。次に税制改正について、日税政は全国の単位税政連と連携して、税制改正建議書の重点要望項目である消費税の単一税率および請求書保存方式の維持を揺るぎない姿勢で強く訴えていく。税理士政治連盟の目的は税理士会の要望実現であり、税政連活動の成果はすべての税理士会会員が等しく享受しており、すべての税理士が誇りと使命感を持って税政連の活動に参加してもらえるように、単位税政連の皆様の英知を結集し取り組んでいく。

(下京支部 宮本照義)

●杉田宗久 近税会会長

近税政代議員、役員、税理士による国会議員等後援会の会員の皆様には、税政連活動に日々ご尽力をいただき、そして着実に成果を上げておられることに対して厚くお礼を申し上げる。



杉田宗久 近税会会長

税理士業界の要望を国会の場で実現することは、決して容易なことではない。平成26年の税理士法改正の実現も税政連の政治力なしでは成し得ないものであった。現在、日税連では次なる税理士法改正について、ICT化社会における税理士法の対応、税理士事務所のあり方について、働き方改革を受けての税理士の多様な働き方を中心とした答申が出されている。先の改正で積み残しとなった事項の検証に加えて、時代の変化に即応したあるべき税理士制度の構築に向けて英知を結集して検討、議論されているところである。令和元年度税制改正では、前年度に改正された事業承継税制の見直しや改正民法に対応した日税連の建議にそった改正が多く取り上げられた。税政連活動が税理士の利益のみならず、国民全体に寄与していることを会員に認識してもらえよう我々も努力を惜しまない。今後も税理士制度及び中小企業に対して真に理解のある候補者の推薦と支援をお願いしたい。

●平昌彦 名古屋税政連会長

名古屋税政連は、近畿税政連の定期大会には毎年出席させていただいている。本日、届いた日税政の会報(第548号)の中に「令和2年度税制改正に関する建議書の概要」が同封されている。その表紙に「税制に対する基本的な視点」として、①公平な税負担、②理解と納得のできる税制、③適正な事務負担、④時代に適合する税制、⑤透明な税務行政、が掲げられている。この5つの視点で我々は活動している。ところが、今回の消費税の軽減税率の導入は、この5

つの視点からはまったく外れている。特に②の理解と納得のできる税制として、皆様方は子供達に軽減税率の制度を説明できるでしょうか？我々は、今後もこの軽減税率については、強く反対をしていかなければならないと考えている。



平昌彦 名古屋税政連会長

税理士会と税政連は「車の両輪」とよく言われるが、必ずしも横並びに進むものではなく、税政連が先んじて活動したり、時には税理士会を後押しするものだと考えている。近畿は非常に若い代議員の先生方が多いので、今後とも業界をリードしていただけるよう期待をしている。(上京支部 矢田善久)

退任役員あいさつ

北村善和近税政副会長が、任期満了となる役員を代表してあいさつをした。

税政連の役割は、我々税理士が、税理士法に定める建議権に基づいて、税制改正に関する要望を国会議員を通じて国会に届けることであると認識している。近税会とは車に例えますと前後の両輪のように活動し協力してきました。

振り返ってみますと、自分の思いを十分に達成することができたのだろうか、少し反省しつつ、しかしながら、安堵感とすがすがしさの両面を持っているところである。多分、この気持ちは退任する役員全員の気持ちであろう。

新任役員および税政連活動承継者そして会員のみなさま方に、ぜひ、お願いしたいことは、税政連の役割、税政連への参加意識、税政連活

動の重要性を知っていただきたい。

役員からは離れますが、今後は支部連からサポートしていきたいと思っている。最後に、みなさまの税政連活動の高揚を祈念いたしまして、退任のあいさつとさせていただきます。



北村善和 副会長

新任役員あいさつ

久保直己新会長が新任役員を代表してあいさつをした。

先ほどは、北村善和副会長には退任の素晴らしいごあいさつをいただいた。

前回も申し上げたのではないかと思うが、私も10年ほど前に退任する役員を代表して、あいさつをさせていただいたことがあったが、現在は3期目の会長をさせていただいている。

退任された皆様方には、今後ともご指導を賜りますようお願いしたい。

この2年の間には、必ず衆議院議員選挙があるので、大きな成果がありますように執行部一同と取り組んでいく。

承認されました事業計画の下、執行部一同、全力で職責を全うする決意である。何卒ご協力賜りますようお願いして、就任のあいさつとさせていただきます。

役員・支部・支部連の表彰

役員表彰規程により役員表彰、会費収納率に顕著な成果をあげた支部及び支部連の表彰が執りおこなわれた。

最後に、河田秀雄副会長による閉会のことばをもって、盛会のうちに定期大会は閉会した。



閉会のことば 河田秀雄 副会長
(住吉支部 仕田原恒雄)

国政報告会

定期大会に引き続き、国政報告会が小寺隆弘国対委員長長の司会により開催された。

多忙な時期にもかかわらず、21名の推薦国会議員等、4名の議員秘書の出席があった。10月1日から改正される消費税や、令和2年度最重要建議・要望項目についてなど、多岐にわたる報告がおこなわれた。



謝辞 原綱宗 副会長

最後に、原綱宗副会長より国政報告会の参加への謝辞、税政連の要望を取り上げていただくようお願いがあり、国政報告会は閉会した。

(彦根支部 若林邦久)

懇親会

国政報告会に引き続き、エンパイアルームにおいて、懇親会が開催された。



開宴の辞 辻井賢博 副会長

司会の小川由美子広報委員長が開会を宣し、続いて辻井賢博副会長が開宴の辞を述べ、原田憲治防衛副大臣が乾杯の音頭を取り、懇親会は和やかに始まった。



開宴の辞 金子紀行 副会長

遅参の国会議員等、秘書、首長・地方議会議員が、祝辞を述べた後、祝電が披露され、開宴の辞は金子紀行副会長が述べ、後安宏彦副会長が万歳三唱を唱えて懇親会は無事お開きとなった。



万歳三唱 後安宏彦 副会長

(天王寺支部 倉矢勇)

■ 第53回定期大会における表彰

役員表彰者

①役員、委員、府県連会長、支部連会長、支部長として通算10年以上在任 (50音順)

上田 実 上野 政則 鵜島 幸夫 北村 光子 久保 正義 阪上 恭一
 杉垣 輝樹 花房 賢司 藤本 秀樹 松本 圭一 森本 幸子 山本 眞市
 弓手 宏亮

②役員を退任 (50音順)

石津 良行 上田 実 奥村 和義 北村 善和 下山隆一郎

③後援会会長として10年以上在任 (50音順)

谷丸 八郎 中谷 廣一 速水慎一郎 忝田 裕顕

④後援会会長・幹事長を退任 (退任順)

大谷 充廣 古屋 秀典 松尾 康弘 西川 明伸 西浦 文彦 山陰 雅史
 谷丸 八郎 太尾田 博 中谷 廣一 河合 正美 市原 幸恵 中野 雅司
 楠本 雅一

(敬称略)

支部および支部連の表彰

1. 平成30年度会費収納率第1位

①支部連 (第1条第1号)

和歌山県支部連合会

②支部 (第2条第3項第1号)

第1グループ (予算額500万以上)

天王寺支部

第2グループ (予算額100万以上500万未満)

旭支部

第3グループ (予算額100万未満)

水口支部

2. 平成29年度から平成30年度の会費収納率の純増1位

①支部連 (第1条第2号)

滋賀県支部連合会

②支部 (第2条第3項第2号)

第1グループ (予算額500万以上)

東淀川支部

第2グループ (予算額100万以上500万未満)

伊丹支部

第3グループ (予算額100万未満)

今津支部

3. 平成30年度会費収納率が50%以上かつ、平成29年度収納率から純増

①支部連 (第1条第3号)

滋賀県支部連合会 (2号基準重複)

②支部 (第2条第3項第3号)

第1グループ (予算額500万以上)

該当なし

第2グループ (予算額100万以上500万未満)

旭支部 (1号基準重複)

東住吉支部

富田林支部

草津支部

福島支部

第3グループ (予算額100万未満)

水口支部 (1号基準重複)

舞鶴支部

生野支部

豊岡支部

今津支部 (2号基準重複)

海南支部

洲本支部

近江八幡支部

港支部

田辺支部

宮津支部

西成支部

粉河支部

福知山支部

4. 平成29年度会費収納額から平成30年度会費収納額の純増額5位まで

西支部

右京支部

神戸支部

伊丹支部 (2号基準重複)

福島支部 (3号基準と重複)

第53回定期大会 国政報告会



高市早苗 衆議院議員



岸本周平 衆議院議員



加田裕之 参議院議員



田野瀬太道 衆議院議員



こやり隆史 参議院議員



渡海紀三朗 衆議院議員



小林茂樹 衆議院議員



佐藤ゆかり 衆議院議員



長尾 敬 衆議院議員



泉 健太 衆議院議員



前原誠司 衆議院議員



尾立源幸 前参議院議員



中山泰秀 衆議院議員



吉田おさむ 元衆議院議員



堀井 巖 参議院議員



杉 久武 参議院議員

懇親会 来賓国会議員等



左藤 章 衆議院議員



北側一雄 衆議院議員



松本剛明 衆議院議員



大西宏幸 衆議院議員



原田憲治 衆議院議員



大串正樹 衆議院議員



盛山正仁 衆議院議員



宗清皇一 衆議院議員



とかしきなおみ 衆議院議員



熊野正士 参議院議員



佐藤茂樹 衆議院議員



高橋光男 参議院議員



伊藤孝江 参議院議員



福山哲郎 参議院議員

- | | |
|--|--|
| <p>府会議員・
市会議員の皆様</p> <p>野田 義和 東大阪市長
 松浪 武久 大阪府議会議員
 丹野 壮治 大阪市議会議員
 新田 孝 大阪市議会議員</p> | <p>代理人出席の皆様</p> <p>大塚 高司 衆議院議員
 大岡 敏孝 衆議院議員
 関 芳弘 衆議院議員
 末松 信介 参議院議員
 石田 真敏 衆議院議員
 松川 るい 参議院議員
 西村 康稔 衆議院議員
 山口 壮 衆議院議員
 山本 香苗 参議院議員
 奥野 信亮 衆議院議員</p> |
|--|--|

後援会ニュース

佐藤ゆかり後援会 設立総会

開催日 令和元年7月24日
 場 所 ひらかた仙亭(枚方市)
 来 賓 佐藤ゆかり 衆議院議員
 久保 直己 近税政会長
 田 達満 近税政幹事長



税理士による佐藤ゆかり後援会設立総会が開催された。設立総会は、平田義明発起人の司会により始まり、議長に仲光男発起人が選任され、すべての議案が可決承認された。

役員には、会長に林武会長が、幹事長に坂本篤宣幹事長が就任した。

久保近税政会長から、活発な後援会活動をしてほしいとのあいさつがあった。

佐藤議員より、現在の返礼品のある税制とは異なるふるさと納税の原案や、中小企業の固定資産税の減免措置について提起をした。また、税理士法改正についても、当時野党という立場であったが、財務会計士の導入について阻止をした。今後は、毎年の税制改正のお手伝いはもちろんのこと、自動車税について複雑な税制ではなく、ライフサイクルにあった税制を提起していきたいと思っている。また、話を伺いながら寄り添える地元の代議士として、地域のインフラ整備(淀川の渡河橋の建設、新名神のスマートIC整備)などによる中小企業の黒字化も支援していきたいとのあいさつがあった。

(枚方支部 河合克彦)

おだち源幸後援会

税理士によるおだち源幸後援会の定期総会が6月25日、大阪キャッスルホテルにおいて開催された。

来賓として、尾立源幸前参議院議員、久保直己近税政会長、田達満近税政幹事長が出席した。



橋本光世幹事長の司会で開会し、河田秀雄会長が「6月25日に定時総会を開催しました。尾立前議員は、第25回参議院議員選挙に近税政から推薦をいただきました」とあいさつをした。

議長に河田会長が指名され、全議案が原案どおり可決承認された。

来賓の久保近税政会長から総会無事終了の祝辞に続き、尾立前議員には国会に戻っていただくのが我々の願いであると激励があった。

引き続き、参議院議員選挙の仕組みについて講演があり、尾立前議員が「全国区から選挙に挑みます。皆様のご尽力によりもう一度参議院の場に送っていただき、国会で発言していくのが私の使命とっております」とあいさつをした。「比例代表選挙のしくみ」を資料に基づいて詳しく説明し、選挙を控えて有意義な講演であった。

続いて懇談会となり、尾立前議員が各テーブルを回って懇談し、ガンバロウコールで閉会となった。

(住吉支部 仕田原恒雄)

左藤章後援会

開催日 令和元年 6 月28日
 場 所 新宿 (大阪市天王寺区)
 来 賓 左藤 章 内閣府副大臣・衆議院議員
 久保直己 近税政会長
 田 達満 近税政幹事長



参議院議員の選挙を目前に控え、また交通規制がおこなわれるG20大阪サミット首脳会議開催中ではあったが、左藤章後援会総会が開かれた。鮎川純利会長が議長となり、全ての議案が滞りなく可決承認された。

久保近税政会長から、左藤章後援会開催の祝辞あいさつがあった。

続いて、来賓の左藤議員の国政報告会がおこなわれた。拉致問題、幼児教育の無償化などを皮切りに、子供の貧困化は、沖縄に次いで大阪という状況にあり、大阪のある小学校では朝ご飯を提供したところ、朝ご飯を食べさせることで、体力が付き、学力が上がったという事実がある。また朝食にはパンよりも米がよい。

衆議院議員の解散が無かった。もし解散をすれば、G20を控え、ロシアや中国から足元を見られて大変なことになったことであろう。参議院議員選挙を前にして、野党は選挙準備が万全ではない。大阪では万博も準備不足である。またAIには人の気持ちを察することはできないので土業は大丈夫であろうと述べた。

その後懇親会は、乾杯のあいさつの後、和気藹々のうちに終え、総会はすべての予定を終了した。
 (天王寺支部 倉矢勇)

むねきよ皇一後援会

開催日 令和元年 6 月29日
 場 所 すし半 布施店 (東大阪市)



藤本幸三幹事長、吉城鉄也会長のあいさつに続き、来賓として宗清皇一衆議院議員、久保直己近税政会長、田達満近税政幹事長、弓手宏亮近税政第4支部連会長、塩川憲史自民党大阪府府議会議員が紹介された。

次に岩崎久市会員が議長に選任され、議事に入り第1号議案から第4号議案まで滞りなく可決承認された。その後は各来賓が祝辞を述べ、懇親会と続き和やかなうちに閉会した。

●宗清皇一 衆議院議員

これからは3つの変化に対応することが政治の務めだと言える。気候変動、科学技術の進歩、人口減少社会への対応である。消費税改正について、いまだに延期を含む期待の声を聞かざるはならないだろう。社会保障費は現在121兆円だが2040年には190兆円を超えると考えられ、消費税の税率は10%以降も上がると個人的には考えている。ふるさと納税はルールを守り本来の趣旨に戻していく。ものづくり補助金、IT補助金などの中小企業支援も引き続き拡充していく。国際環境が変化しており、安全保障と経済が一对になってきている。科学技術の進歩による、サイバー空間、電磁波の空間、宇宙空間の安全をどう守っていくか。安全保障と経済で対立する米中とどう付き合っていくのか。難しいかじ取りを迫られている。

(東大阪支部 梅原文晃)

北側一雄後援会

令和元年7月3日、南海グリル東店（堺市）において第16回定期総会が開催された。来賓として北側一雄衆議院議員、杉久武参議院議員、河田秀雄近税政副会長及び田達満近税政幹事長が出席した。



竹内芳彦後援会会長のあいさつに引き続き、池田後援会前会長を議長に選出し、平成30年度活動報告及び収支決算報告並びに令和元年度活動方針及び収支予算について審議の結果、全会一致で可決承認された。

河田近税政副会長及び杉議員のあいさつのうち、北側議員から次のとおり国政報告があった。

7月4日から参議院議員選挙がスタートする。この選挙は中間選挙を意味し、結果によっては状況が一変する。今回の選挙は、政治の安定ということが争点となっている。国際社会では世界をリードしていた国々が内向きになり、分断と対立が先鋭化し、米中に貿易摩擦、中東イランの安全保障をめぐる問題など、新たな冷戦時代に突入したのではないかとされている。そのなかで比較的国内政治が安定している日本が対話による協調を主導していく役割を担っている。また、国内では高齢化、人口減少が進展するなかで医療と年金を中心とする社会保障の安定が重要である。今年で自民党と公明党の連立が20年を迎える。これからも与党として生活現場からの声を反映させて政治の安定を図っていききたい。

（堺支部 大谷富太郎）

石田真敏後援会

開催日 令和元年7月6日
場 所 ホテルいとう（和歌山県岩出市）
来 賓 久保直己 近税政会長
後安宏彦 近税政副会長
田 達満 近税政幹事長
森村 透 近税政和歌山県支部連会長



税理士による石田真敏後援会定期総会は、司会の秦義幸会員による総会成立の報告とともに開会した。引き続き、岸友子後援会会長からのあいさつがあった。

議長の山本大介会員による議事進行により、30年度決算報告、令和元年度予算が可決承認された。また、新役員が選任された。

石田真敏総務大臣が不在のため、ビデオメッセージが披露された。地方税の中でも、地方法人2税（法人事業税、法人住民税）は特に大都市に偏っている。このため地方法人2税のうち、法人事業税の一部をいったん国税化し、地方に手厚く再配分する新たな仕組みを導入する。今年10月には、地方法人特別税を廃止するとともに、法人住民税を交付税の財源とする枠を広げる。また、Society 5.0で実現する社会は、2019年骨太方針にあるように、必ず実現させ、持続可能な時代を作っていかなければならないとした。

懇親会は、森村透新会長による開会あいさつに続き、田近税政幹事長による乾杯の発声ではじまり、懇談した。

（和歌山支部 小西里枝）

こやり隆史後援会

開催日 令和元年7月26日
 場所 琵琶湖ホテル(大津市)
 来賓 小鐘隆史 参議院議員
 大岡敏孝 衆議院議員
 久保直己 近税政会長
 田 達満 近税政幹事長
 織戸英信 滋賀県支部連合会会長



税理士によるこやり隆史後援会平成30年度定期総会が開催された。

安藤大輔幹事長の司会のもと、金子紀行会長のあいさつの後、橋本淳会員が議長に選任され、議案は全て満場一致で可決承認された。

久保近税政会長より、今般、消費税に関して税理士の賠償責任が増えている現状を議員の皆様方に知っていただき、早々に検討いただきたいとのあいさつがあった。

●こやり隆史 参議院議員 国政報告

滋賀県東部を流れる日野川の河川改修工事において、滋賀県のインフラ対策予算70億円の社会資本整備交付金とは別枠で補助金制度を新しく創設したことは大きな成果である。また、今般の消費増税に関しては、いわゆるレジ補助金およびキャッシュレス決済時のポイント還元策を導入した。消費増税よりも還元策が上回っているが、広く補助金制度が浸透していない。企業には早急に取り組むよう呼びかけたい。

(大津支部 小川宗彦)

平野博文後援会

日時 令和元年8月19日
 場所 ひらかた仙亭(枚方市)
 来賓 平野 博文 衆議院議員
 河田 秀雄 近税政副会長
 田 達満 近税政幹事長



税理士による平野博文後援会平成30年度定期総会が開催された。定期総会は、福田敏彦幹事長の司会により始まり、議長に田中克実後援会会長が選任され、上程されたすべての議案が全会一致で可決承認された。

河田近税政副会長より、今後も平野議員を支援するため、後援会組織の充実にますます努力してほしいとのあいさつがあった。

平野議員から、日ごろの応援に感謝の辞を述べ、10月から始まる消費税の軽減税率については複雑すぎる、税というのは簡素でなければならないという基本から逸脱していると思っている。消費税については、今やもう基幹税として、国民の皆さんにフラットに負担を求めていく。しかし富裕層だけが楽になる制度にはしてはいけない。消費の6割以上を占める個人消費を、将来の不安から貯蓄に回すのではなく、もっと伸ばせるような経済政策をやっていかないといけない。富裕層優遇ではなく、庶民大衆の家計第一とする経済政策に戻さないといけないと述べた。

定期総会の後、懇親会がおこなわれ、橋本光世会員の閉会の辞で盛会のうちに終わった。

(枚方支部 河合克彦)

大岡としたか後援会

税理士による大岡としたか後援会の第1回定期総会が8月19日、琵琶湖ホテル(大津市)において開催された。来賓として、大岡敏孝衆議院議員、近税政より久保直己会長、滋賀県支部連より織戸英信会長、竹中弘幹事長が出席した。

定期総会に先立って、元国税庁長官の迫田英典氏を講師に迎え「国税庁長官を退官して思うこと」と題して、1時間の講演があった。



講演では、官僚時代の多岐にわたる経験から、竹下元首相の秘書官補時代に導入された消費税について「政治家の腹のくくり方を目の当たりにした」というお話が印象的であった。また、特に官僚は日本語能力と書類作成能力が問われる職種であり「官僚は目と手」「政治家は耳と口」が命であると話があった。最後には「セーヌ川の深さは？」と問われたら「官僚としてどのように答えるのが正解か？」と投げかけられ「どの地点を測るのが良いか」と問い返すのが正解とのことだった。講演では迫田氏の人柄が窺える有意義な研修会であった。

国政報告会では、大岡議員は「衆議院選挙が年末におこなわれるのではないかの憶測があるなかで、10月から消費税軽減税率制度の導入は現場の混乱を招き、世論の厳しい声があるが、軽減税率制度には当初から反対の立場であったものとしては、引き続き国民に分かりやすい納税環境の整備を進めていきたい」と述べた。

(大津支部 小川宗彦)

松川るい後援会

開催日 令和元年8月26日

場 所 中国料理大成閣(大阪市中央区)

来 賓 松川 るい 参議院議員

久保 直己 近税政会長

中山 彰 近税政大阪府第一支部連会長

浅田 恒博 前近畿税理士会会長



司会的美甘博義会員が開会を宣し、来賓紹介の後、今井基剛会長は、松川議員にこれまでの感謝の辞を述べた。

続いて議長に勇元清治副幹事長が選出され、議事に入った。第1号議案から第4号議案まで、全て原案どおり可決承認された。来賓の久保近税政会長が、松川議員の活動について述べた。

続いて、松川議員より謝辞及び国政報告として、財政金融委員会を選んだ理由、消費税の軽減税率の問題性、中小企業における税理士の必要性、現在の国際情勢、特に日韓関係について、外務省勤務時代から在韓大参事官として韓国と関わってきたことにより得られた経験に基づく、日韓基本条約から今日に至るまでの日韓関係の様々な経緯、半導体材料を始めとする輸出管理問題、韓国によるG S O M I A破棄問題、旧朝鮮半島労働者問題、韓国の内政問題、特に文在寅政権の政治的思惑、今後の日韓関係の展望などについて分かり易く述べた。

引き続き、懇親会が開催され、松川議員を囲んで終始和やかな雰囲気の中で歓談がおこなわれ、盛会のうちに終わった。

(茨木支部 高岸直久)

伊藤たかえ後援会

開催日 令和元年9月7日

場 所 西村屋(神戸市中央区)

来 賓 伊藤 たかえ 参議院議員

高橋 みつお 参議院議員

田 達満 近税政幹事長



越智信介副幹事長の司会のもと、傳寶弘司副会長により開会宣言、樽井博会長により開会のあいさつがなされ、令和2年度の税制改正に関する建議書が伊藤議員に手渡された。続いて議長に弘瀬至副会長が選出され、上程された議案は全て原案通り可決承認された。

○伊藤たかえ 参議院議員 あいさつ

日頃よりご支援いただき感謝している。昨年12月、皆様方には国会見学、とりわけ入管法改正の議論時に、私の所属する法務委員会を見学する機会を設ける事ができた。また8月下旬には、若手超党派の議員より構成される日中次世代交流委員会の7回目中国訪問に初参加した。多くの方と対面し本音で話すという活動の積み重ねが、交流を深めるためには必要と感じた。

○高橋みつお 参議院議員 あいさつ

初当選できた7月の参議院選挙では、多大なる支援をいただき感謝している。税制については勉強を重ねて、皆様方と共に取り組みたい。

最後に垣見芳正副会長による閉会のあいさつの後、年次総会は終了した。

引き続き、懇親会が開催され、盛会のうちに閉会した。

(芦屋支部 吉田智代)

岸本周平後援会

開催日 令和元年9月7日

場 所 ダイワロイネットホテル和歌山

来 賓 岸本周平 衆議院議員

久保直己 近税政会長

後安宏彦 近税政副会長

刀祢真大 近税政和歌山県支部連会長



定期大会は、島紀郎会員の司会により開会した。大西省悟後援会会長のあいさつでは、岸本議員の所属する国民民主党について述べた。西川明伸会員が議長に就任し、全議案可決承認された。久保近税政会長からの祝辞の後、藤原光男会員より閉会あいさつがあった。

続いて、岸本議員から国政報告があった。近々、自民党人事が決まる。一方、野党は、とりわけ、所属する国民民主党の支持率が現在非常に厳しい状況になっていることについて触れた。去年5月に結成された国民民主党にとって、今回の参議院選挙は、初めて挑む全国規模の国政選挙になる。国民民主党はエネルギーについて、2039年までに原発ゼロ、再稼働は地元の合意があれば賛成にまわるなど現実的で、与党と大きくは変わらないとし、ともに民進党から枝分かれした立憲民主党との違いを述べた。立憲は、エネルギー・外交安全保障についてはなんでも反対だ。そのため野党共闘が進まないとした。

懇親会は、後安近税政副会長の乾杯発声で開催し、最後は大住文夫会員の謝辞でお開きとなった。

(和歌山支部 小西里枝)

近畿税理士政治連盟役員名簿

本部役員

役 職	氏 名		
名誉会長	杉田宗久 (西)		
顧問	池田隼啓 (生野)		
相談役	宮田義見 (茨木)	浅田恒博 (天王寺)	大高友紀 (宇治)
	今中英雄 (茨木)	細谷陸雄 (堺)	北村善和 (下京)
会 長	久保直己 (大津)		
副 会 長	河田秀雄 (城東)	原 綱宗 (下京)	脇阪説男 (天王寺)
	辻井賢博 (葛城)	後安宏彦 (和歌山)	金子紀行 (大津)
	澤田千博 (姫路)	伊田憲司 (伊丹)	芦田和典 (北)
	森田 務 (奈良)	澤田千博 (姫路)	
総務会長	橋本光世 (枚方)		
総務副会長	坂口明久 (天王寺)	旭 輝明 (旭)	
総 務	石原健次 (天王寺)	北田全基 (東)	永橋利志 (岸和田)
	川口昌紀 (和歌山)	富村将之 (下京)	相間宏章 (東)
	秦 雅彦 (港)	那須弘敬 (北)	野村秀次郎 (明石)
	前川武政 (大淀)	市木雅之 (下京)	岡本 正 (下京)
	和田浩孝 (豊能)	新田博之 (旭)	吉澤俊二 (左京)
	前田俊明 (姫路)	田中啓久 (豊能)	速水慎一郎 (和歌山)
	原 均 (御坊)	本城善男 (長浜)	作見蔵市 (東山)
	武野勝文 (奈良)	中山 彰 (西成)	木原義和 (北)
	仲 猛夫 (茨木)	高岡 稔 (東大阪)	森 敏則 (堺)
	北尾剛久 (下京)	寺内設昭 (芦屋)	藤本 晃 (明石)
	阪上恭一 (西宮)	北岡 昭 (姫路)	景山良一 (奈良)
	刀祢真大 (和歌山)	織戸英信 (大津)	
幹 事 長	田 達満 (住吉)		
副 幹 事 長	道廣友厚 (枚方)	山本眞市 (葛城)	小寺隆弘 (城東)
	長谷川隆史 (灘)	矢田善久 (上京)	室谷澄男 (上京)
	小川由美子 (生野)		
幹 事	仲田むつみ (西淀川)	大久保一成 (旭)	岩崎年秀 (葛城)
	若林日出紀 (南)	瀬古順子 (住吉)	鷗島幸夫 (和歌山)
	梅崎道夫 (東)	横井保夫 (長田)	高田芳文 (東大阪)
	杉本和裕 (南)	檜垣典仁 (浪速)	服部行男 (住吉)
	高木晴雄 (吹田)	森本幸子 (西宮)	大谷富太郎 (堺)
	吉田智代 (芦屋)	山本敬三 (天王寺)	松尾康弘 (茨木)
	三木政司 (龍野)	神原陽平 (西成)	楯岡美佐子 (北)
	宮口 太 (茨木)	嶋田 薫 (東大阪)	東 俊夫 (堺)
	安井伸夫 (中京)	今中明子 (芦屋)	藤田道広 (明石)
	小塩 明 (西宮)	三木由佳子 (姫路)	寺脇淳司 (葛城)
	堀 博充 (和歌山)	竹中 弘 (草津)	
会 計 監 事	杉本幸弘 (桜井)	浦濱 勇 (西宮)	光成 創 (豊能)

本部推薦審査会構成員

役 職	氏 名	
会 長	久保直己 (大津)	
委 員	河田秀雄 (城東)	原 綱宗 (下京)
	脇阪説男 (天王寺)	辻井賢博 (葛城)
	後安宏彦 (和歌山)	金子紀行 (大津)
	澤田千博 (姫路)	伊田憲司 (伊丹)
	芦田和典 (北)	森田 務 (奈良)
	橋本光世 (枚方)	坂口明久 (天王寺)
	旭 輝明 (旭)	田 達満 (住吉)
	道廣友厚 (枚方)	山本眞市 (葛城)
	小寺隆弘 (城東)	長谷川隆史 (灘)
	矢田善久 (上京)	室谷澄男 (上京)
	小川由美子 (生野)	中山 彰 (西成)
	木原義和 (北)	仲 猛夫 (茨木)
	高岡 稔 (東大阪)	森 敏則 (堺)
	北尾剛久 (下京)	寺内設昭 (芦屋)
	藤本 晃 (明石)	阪上恭一 (西宮)
	北岡 昭 (姫路)	景山良一 (奈良)
刀祢真大 (和歌山)	織戸英信 (大津)	

支部連会長・幹事長

支部連名	支部連会長	支部連幹事長
大阪府第1	中山 彰 (西成)	神原陽平 (西成)
大阪府第2	木原義和 (北)	楯岡美佐子 (北)
大阪府第3	仲 猛夫 (茨木)	宮口 太 (茨木)
大阪府第4	高岡 稔 (東大阪)	嶋田 薫 (東大阪)
大阪府第5	森 敏則 (堺)	東 俊夫 (堺)
京 都 府	北尾剛久 (下京)	安井伸夫 (中京)
兵庫県第1	寺内設昭 (芦屋)	今中明子 (芦屋)
兵庫県第2	藤本 晃 (明石)	藤田道広 (明石)
兵庫県第3	阪上恭一 (西宮)	小塩 明 (西宮)
兵庫県第4	北岡 昭 (姫路)	三木由佳子 (姫路)
奈 良 県	景山良一 (奈良)	寺脇淳司 (葛城)
和 歌 山 県	刀祢真大 (和歌山)	堀 博充 (和歌山)
滋 賀 県	織戸英信 (大津)	竹中 弘 (草津)

大阪府連合会構成員

役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	河田秀雄 (城東)	幹事長	神原陽平 (西成)
副会長	中山 彰 (西成)	構成員	楯岡美佐子 (北)
	木原義和 (北)		宮口 太 (茨木)
	仲 猛夫 (茨木)		嶋田 薫 (東大阪)
	高岡 稔 (東大阪)		東 俊夫 (堺)
	森 敏則 (堺)		

兵庫県連合会構成員

役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	澤田千博 (姫路)	幹事長	小塩 明 (西宮)
副会長	寺内設昭 (芦屋)	構成員	今中明子 (芦屋)
	藤本 晃 (明石)		藤田道広 (明石)
	阪上恭一 (西宮)		三木由佳子 (姫路)
	北岡 昭 (姫路)		

本部 6 委員会構成員

Table with 7 columns: 担当副会長, 委員長, 副委員長, 委員, 大阪府第1-5, 京都府, 兵庫県第1-4, 奈良県, 和歌山県, 滋賀県. Each column lists members of various committees.

支部長・支部幹事長

Table with 4 columns: 支部, 支部長, 支部幹事長. Lists branch leaders and officers across various regions including Osaka Prefecture, Kyoto Prefecture, Hyogo Prefecture, Nara Prefecture, and Wakayama Prefecture.

第7回川柳・書道コンテスト応募者一覧

6月14日に応募を締め切りました「第7回川柳・書道コンテスト」にたくさんの方々のご応募いただきありがとうございました。

[港支部] 辻子 隆裕
 [南支部] 若林日出紀
 [北支部] 黒石 健弘
 [福島支部] 田野 卓也
 西川 一博
 [東淀川支部] 山村 行仁
 [城東支部] 小寺 隆弘
 [枚方支部] 道廣 友厚
 [門真支部] 並木 正次
 [天王寺支部] 山田 裕一
 山本 敬三
 脇阪 説男

[生野支部] 小川由美子
 古田 敦彦
 文字 和毅
 [東成支部] 吉原 淑美
 [阿倍野支部] 小林 邦雄
 山川 典男
 [住吉支部] 安部 隆史
 池上 弘美
 石山 学
 金井恵美子
 川崎 玉樹
 仕田原恒雄
 多田 一博
 寺田 伸謙
 田 達満
 西田 豊
 西村 拓真
 服部 浩之

服部 行男
 増田 和博
 大和 司
 脇坂 毅
 [東大阪支部] 梅原 文晃
 高田 哲三
 [堺支部] 白間 真次
 大谷富太郎
 [泉佐野支部] 津留 真弓
 呑海 英治
 根末 和夫
 真鍋 光廣
 [茨木支部] 高岸 直久
 難波 孝朗
 松岡 久枝
 [吹田支部] 石井 碧八
 上西佳代子

大内 将弘
 大川 雅子
 岡本 昌平
 小倉 毅
 金子 真也
 加茂 直樹
 九鬼 章泰
 高木 晴雄
 高橋 勝彦
 谷 義孝
 玉井 敬浩
 永田 絵理
 西村 武士
 畑 忠蔵
 樋口 孝文
 平山 直樹
 福田 洋子
 古川 裕
 吉川 久子
 米田 益男
 [豊能支部] 安積 重和

粟井 伸輔
 伊藤 英希
 岩佐 伸彦
 上村 洋文
 北秋 勝己
 北野 幸子
 酒井 稔
 芝 宏
 関谷 洋子
 高砂 昭宏
 田中 順也
 古川 誠直
 守部 浩二
 山下 肇
 与北奈須夫
 渡邊 肇
 [上京支部] 東 智之
 室谷 澄男

[中京支部] 坂部 浩
 [下京支部] 北尾 剛久
 原 綱宗
 [東山支部] 作見 蔵市
 [福知山支部] 藤原 洋子
 [舞鶴支部] 松下 弘
 [須磨支部] 長田 義博
 [芦屋支部] 寺内 設昭
 [西宮支部] 森本 幸子
 [奈良支部] 東 真由美

景山 良一
 [葛城支部] 辻井 賢博
 山本 眞市
 吉田 廣彰
 [和歌山支部] 木村 雅彦
 [海南支部] 岸 友子
 [大津支部] 織戸 英信
 久保 直己
 島淵 裕一
 [草津支部] 橋本 淳
 [水口支部] 上杉 恵一

※入賞作品につきましては、近畿税政連245号(令和2年新年号)に掲載させていただきます。

KINZEISEI

トップを飾る写真を募集しています

近畿税政連では、次の写真を募集しています。

①近畿税理士政治連盟HP (<http://www.kinzeisei.jp/>)

のトップページの写真

テーマ:「近畿地方のお城」

②近畿税政連の機関紙の表紙写真

自由作品 (季節性や話題性のあるものなど)

※作品の著作権は近畿税理士政治連盟に帰属し、利用させていただきます。

※作品は未発表作品に限ります。

トップを飾るにふさわしい写真をお待ちしております。



応募先

- ・メール(データ)で提出される場合は、作品と「名前・支部名・登録番号・写真タイトル」を記載の上、info@kinzeisei.jpまで送信してください。
- ・現像で提出の場合は、作品裏に「名前・支部名・登録番号・写真タイトル」を記載の上、下記まで郵送してください。
〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 近畿税理士会館5階 近畿税理士政治連盟 広報委員会 行

息子とサッカー

小学5年生の息子は、地元のクラブでサッカーをやっています。練習は、毎週土日。真夏の炎天下でも練習していますので、親としては熱中症にならないか心配です。監督やコーチは、地元の有志がやってくださっており、いつも熱心に子供たちの指導をさせていただいて、本当に頭が下がります。

普段の練習では特に親の出番はありませんが、試合となると大変です。車がないといけない遠方に連れていくこともあります。平日はめいっぱい仕事をしているので、土日はゆっくりしたいのですが、なかなかそうもいきません。でも、同じサッカー仲間のお母さん方とお話するのも私にとってはストレス解消です。小学生男子という難しい生き物を日々取り扱っているので、皆悩みは共通で、その対処法について、知恵を出し合っています。

息子は、サッカーが大好きなようなのですが、練習量に体の成長が追い付かず、苦しんでいるようです。最近では、3時間の練習後には足が痛くなるようで、足を引きずって帰ってきます。病院に行っても、有効な治療法はなく、痛くなったら練習はやめる、普段からストレッチをする、といったことで慣れていくしかないようです。私自身は、子供のころから全くスポーツをしたことがないので、体を痛めてまでスポーツをする気持ちが全く理解できません。でも、きっと痛みなんて比べ物にならないくらい楽しいことがあるのでしょうね。残念ながら勉強の方はおそろかになっておりますが、夢中になれるものがあることは素晴らしいことだと親としては満足しております。

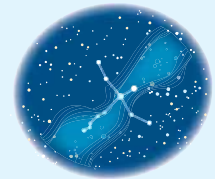
(明石支部 川淵佳子)



近税政本部のうごき

- 第1回正副幹事長会 (7月30日)
 - 第53回定期大会・国政報告会・懇親会の開催に関する件
 - 第53回定期大会提出議案(原案)の作成に関する件 他
- 第1回幹事会 (7月30日)
 - 第53回定期大会・国政報告会・懇親会の開催に関する件
 - 第53回定期大会提出議案(原案)の作成に関する件 他
- 第1回総務会 (7月31日)
 - 第53回定期大会・国政報告会・懇親会の開催に関する件
 - 第53回定期大会提出議案(原案)の作成に関する件 他
- 第1回推薦審査会(書面審議) (8月27日)
 - 東大阪市長選挙における推薦候補者の決定について
- 第53回定期大会 (9月6日)
- 第2回広報委員会 (9月13日)
 - 第7回川柳・書道コンテストについて
 - 機関紙第241号(7月号)及び242号(8月号)の批評
 - 機関紙第243号(10月号)の編集に関する件
 - 機関紙第244号(12月号)の編集企画に関する件 他

銀河系



消費税増税前夜

この原稿の締切日は8

月末、発行が10月10日であり、この原稿が読まれる頃は、消費税増税が実施されていることとなる。そこで近未来をシミュレーションしてみよう。百貨店、スーパー、コンビニ等社員教育の充実している企業は、食料品等8%の軽減税率にも対処すると予想される。軽減税率は売上のみならず仕入・経費段階での会計ソフトの変更が必要となる。

問題なのが小規模の消費税課税事業者である。CMで中小企業庁が盛んにレジの買替の補助金制度を流しているが「消費税が10%になることは知っているが、なんで、今さらレジの変更をするのか」等の声に対して、我々税理士が制度も含めて、会計ソフトを理解し、根気よく、ていねいに指導していかななくてはならない。

(吹田支部 高木晴雄)

「表紙」題字：第6回川柳・書道コンテスト 書道テーマ部門 最優秀会長賞

(作=木戸義人 伏見支部)

「焦点」題字：第6回川柳・書道コンテスト 書道テーマ部門 入選

(作=上村洋文 豊能支部)

つながる力が発展に 手と手とりあい、さらなる向上へ

- 組合事業に一層のご協力をお願いいたします -



大阪・奈良税理士協同組合

大阪・奈良税理士協同組合は「組合員の相互扶助の精神に基づき、組合員のための共同事業を行い、経済活動を促進し、その経済的地位の向上を図る」ことを目的としています。(定款第1条) スケールメリットを活かした事業を行い、その収益を組合員の皆様へ還元しています。

保険事業

全国税理士共栄会

VIP大型総合保障制度
全税共年金

近畿税理士企業共済会

総合事業保障プラン

その他

団体所得補償保険、新・団体医療保険
自動車保険、火災保険、ゴルフ保険

積立年金事業

阪奈積立年金制度

※満71歳まで加入できます。

共済制度

小規模企業共済制度

経営セーフティ共済
(中小企業倒産防止共済制度)

中退共制度

(中小企業退職金共済制度)

あっせん事業

税理士業務

不動産

クレジットカード・ローン

健康(PET検診など)

レクリエーション(旅行・観劇など)

その他(生活雑貨、衣料品、ゴルフ

ホームセキュリティなど)

※一部WEB販売(書籍、電化製品など)

〒540-0012 大阪市中央区谷町1-5-4 (近畿税理士会館11F) TEL (06) 6941-6888 / FAX (06) 6947-2800

<http://www.hanna-zeikyo.jp>